

平成23年度 実施計画作成・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	税務課	記入者名	川平 信二	内線	117
事務事業名	総合固定資産管理システム		事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等	地方税法附則第17条の2・平成21年8月14日総務省告示第423号						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目		
本庁（標準宅地の時点修正率算定業務委託料）	01	02	02	02	001		

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

固定資産税の土地の評価額は、地目変更等の異動がない限り、基準年度（平成21年度：今回は平成24年度）の価格を3年間据え置くこととされていますが、平成10年度以降は地価の下落により著しく不均衡が生じると認められる場合には、据置年度（基準年度以外の年）においても価格の修正（時点修正）ができるとされており、地価の下落傾向が続いていることから、3年後に評価替えを行うと税額の減収額が大きくなると予想されるため、据え置き年度も鑑定士に委託し、適正な土地評価を行うものである。

3 事務事業の概要

H22年度の事業概要	H23年度の事業概要・計画	H24年度の事業計画	H25年度の事業計画
標準宅地の鑑定委託 計48点 出水 36点 高尾野 6点 野田 6点 （期間：平成21年7月1日～平成22年7月1日） 南九州鑑定株式会社 ※その他平成24年度評価替え鑑定評価を実施（平成23年1月1日現在 鑑定依頼宅地260点）	平成22年度事業の継続 （期間平成23年1月1日～平成23年7月1日）	平成23年度事業の継続 （期間平成23年7月1日～平成24年7月1日）	平成24年度事業の継続 （期間平成24年7月1日～平成25年7月1日）

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
納税者	適正な土地の評価を行い、適正な課税を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
土地の価格情勢に応じた課税を行うことで、納税者の理解を得る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 時点修正宅地	点	48	48	48	48		
	②							
成果指標	① 土地調定額	千円	760,200	755,000	735,000	730,000		
	② 縦覧期間における固定資産評価審査委員会への審査申し出	件	0	0	0	0		0

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	鑑定評価を行わない又は税額に反映しない等の方法はあるが、現状では納税者への説明が難しい。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	国の公示地や県の基準地の地価が上昇に転じれば据え置くことができるが、現時点では地価の下落傾向が続いており、納税者に説明ができない。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
その他	<input checked="" type="checkbox"/> ある	鑑定評価の外部委託
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	無し
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。
その他	他の市町村では、実施している事業ですか	
	県内19市のうち14市で実施	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	近年、地価の下落傾向が続いていることから、時点修正をする必要があるため現時点では継続とするが、国の公示地価が上昇すれば時点修正をする必要がなくなり休止等ができる。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	適正な土地の評価及び課税を行い、市民への説明責任を果たす必要があるため継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。